

富士見市 公共施設の みらい



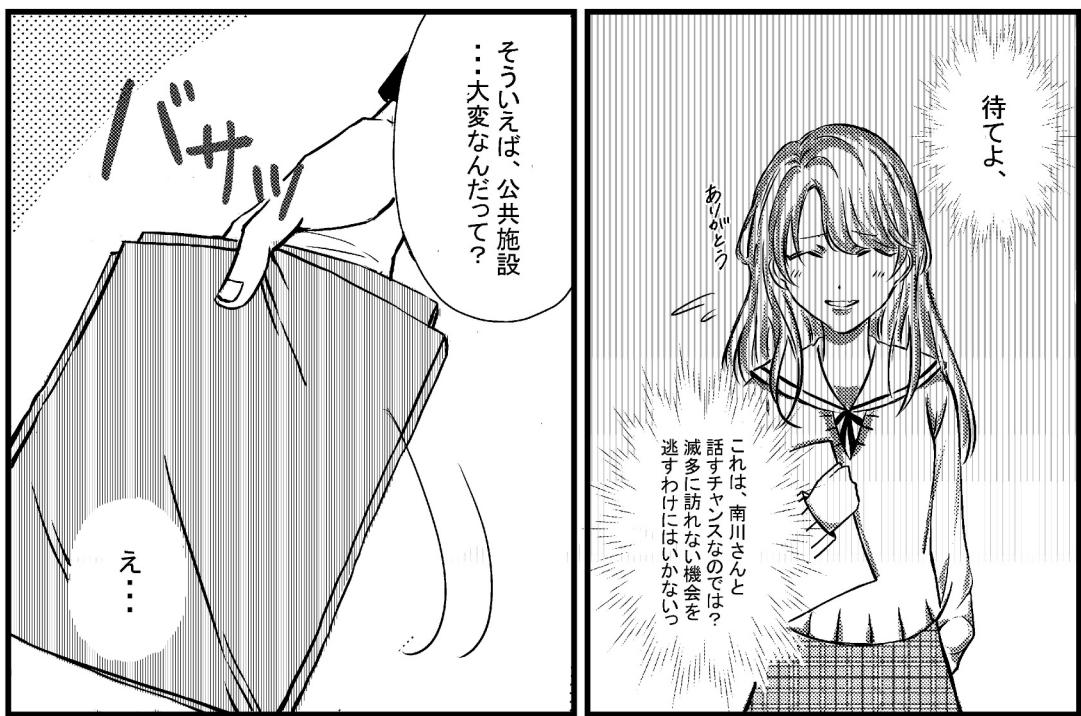


西森

何かいい事ねえかな？

…ん？



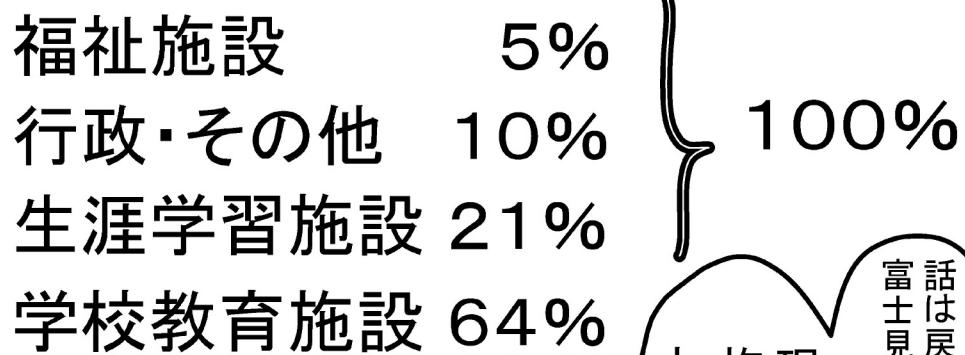












延床面積の
64%は学校が
占めているんですよ

現在
128もの
施設を管理
しています

話は戻りますが、
富士見市では



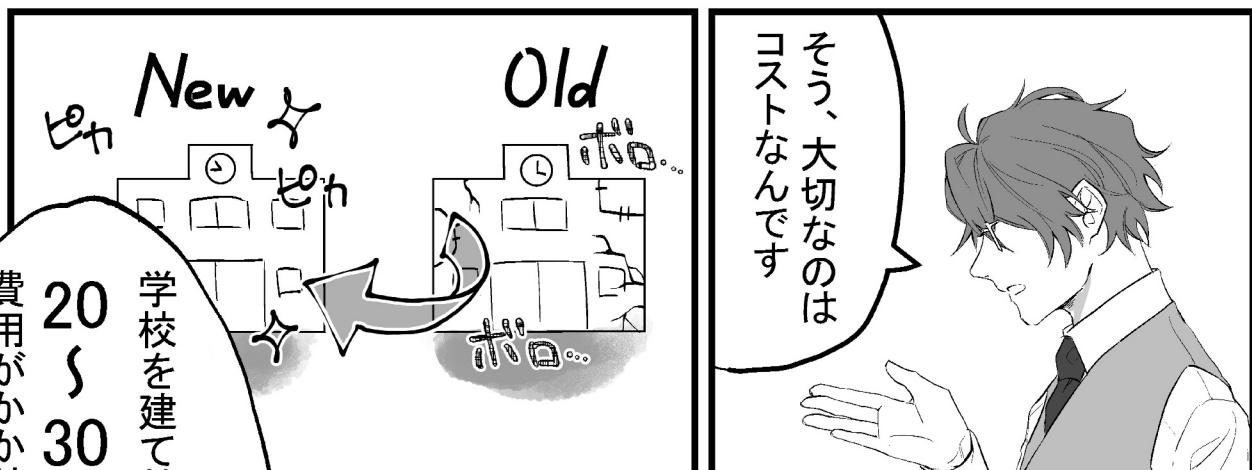
出典：富士見市公共施設等総合管理方針



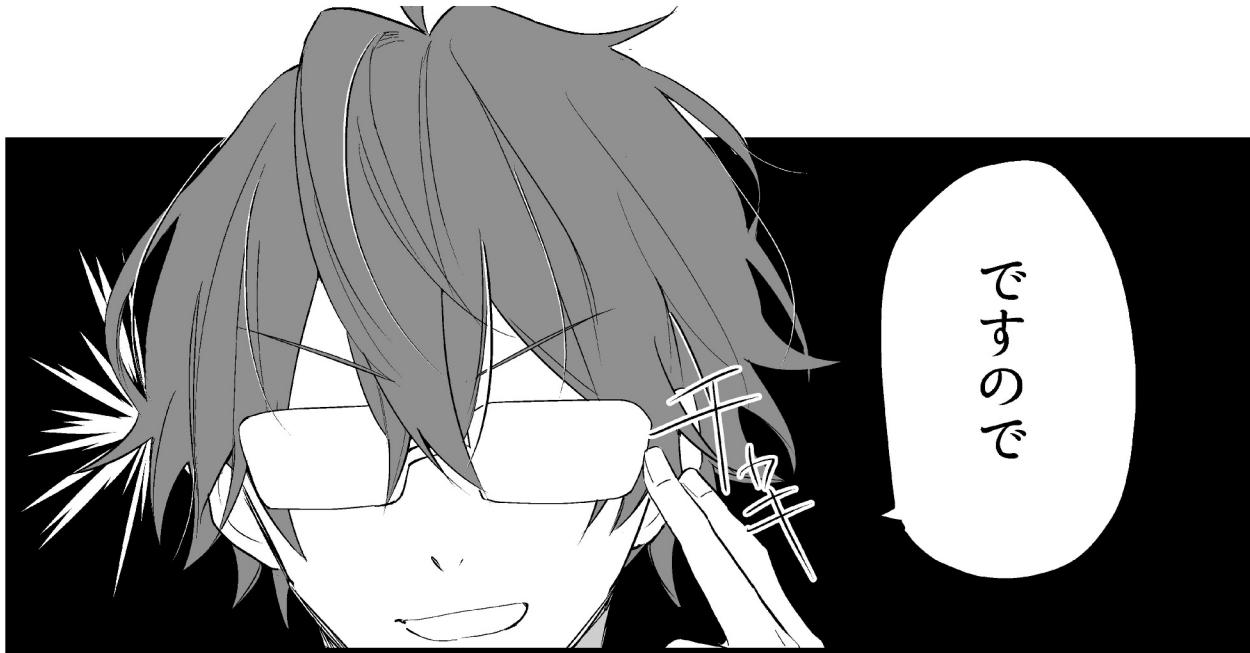
へえ！6割も
学校に使われていた
のか…知らなかつたよ

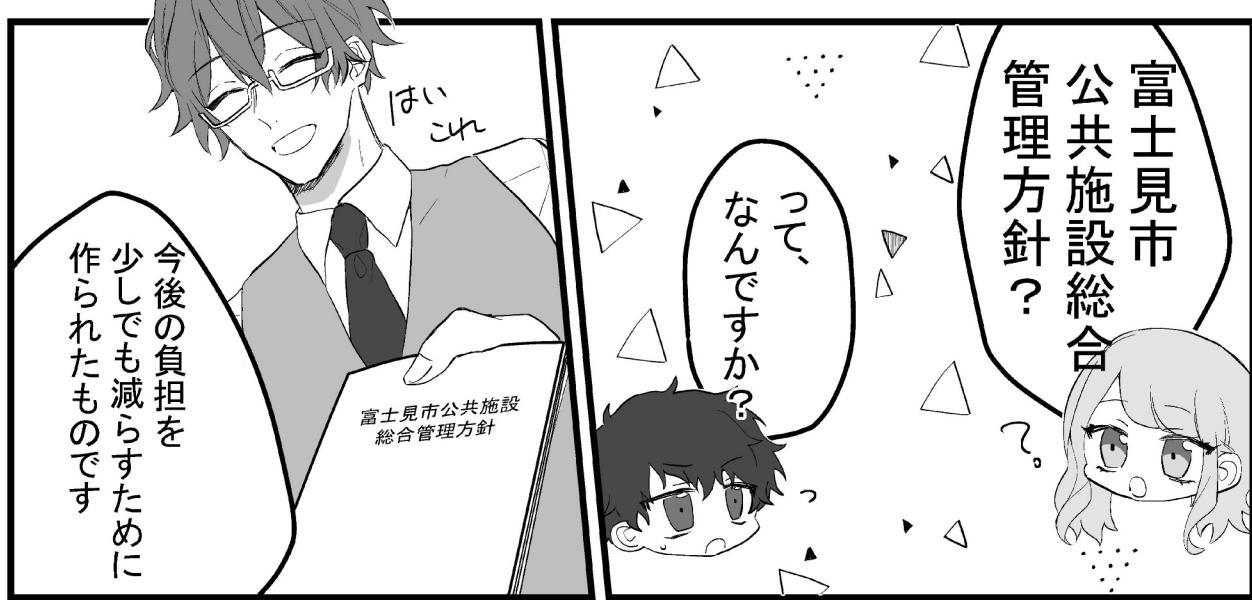
半分以上…！



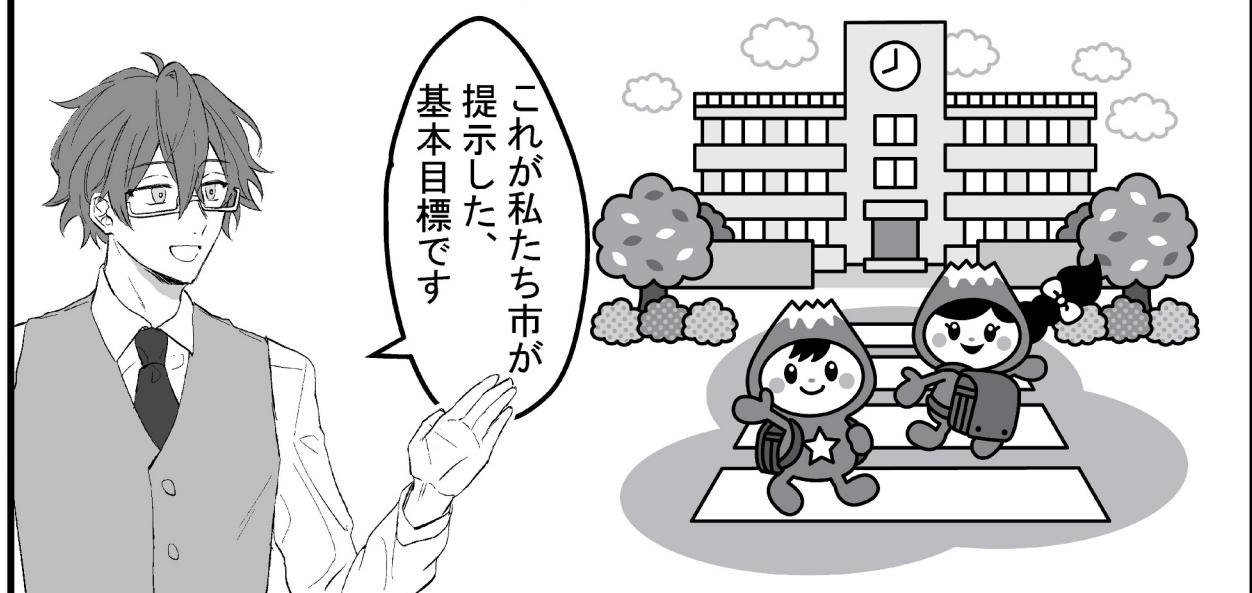




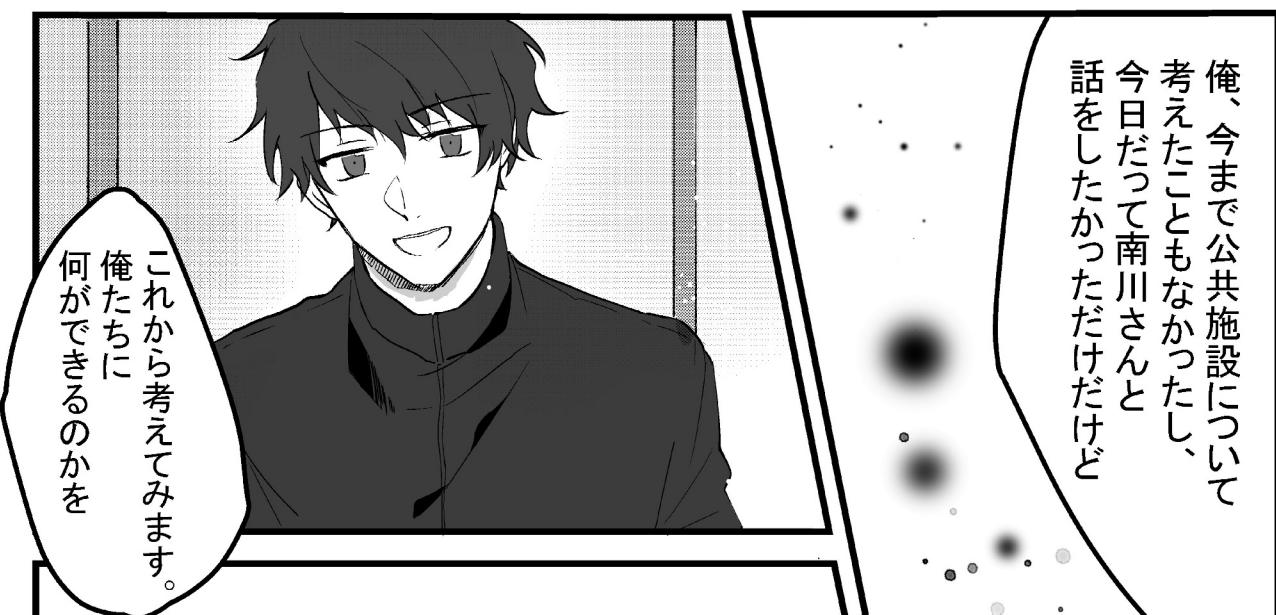
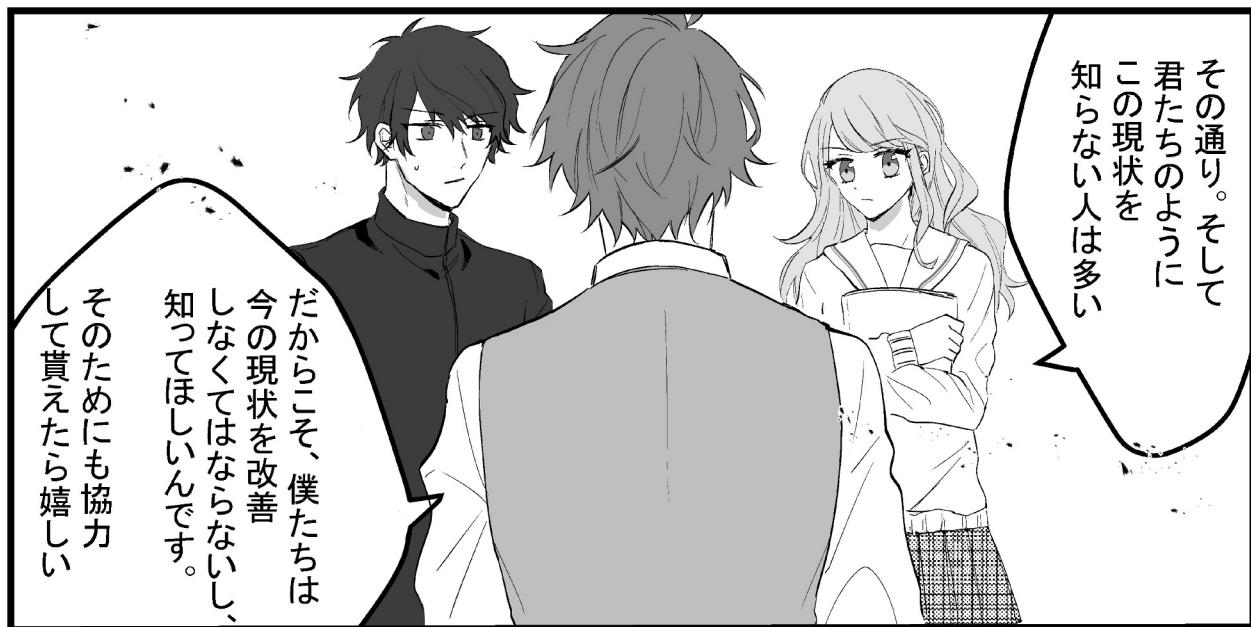




- 1 社会環境の変化に合わせた施設運営
→施設の機能などの最適化
- 2 施設の安全性・機能性を維持、
持続可能で良いサービスの提供
→老朽化対策・修繕が適切にされている
- 3 健全な財政状況の下での施設管理
→コストの平準化が図られている







公共施設が抱えているこれからの課題

富士見市では、昭和40年代から50年代までにかけて多くの公共施設が建てられました。今、これらの建物の老朽化が進んでいます。老朽化が進んだ建物は、「直す」か「建て替える」ことで安全な公共施設を維持することができます。

しかし、それには多くのお金が必要です。今後は、少子高齢化などにより税収が減少すること見込まれています。

そこで、富士見市では、このマンガの中でも出てきたような手法を用いて、皆さんに安全で安心な公共施設を利用いただくための施策に取り組んでいます。



市の取組・方針はこちらのQRコードからご覧ください。



北村さん

氏家さん

大原さん

この問題を皆さんにわかりやすく伝えるため、淑徳大学の学生さんがマンガを製作してくれました。製作期間は約10か月間を超えて、この問題について一生懸命取り組んでくれました。ありがとうございました！

この問題の解決のためには、多くの市民の皆さんのご意見や考えが必要です。このマンガを読んでいただいた皆さんも、ぜひ一緒に考えていきましょう。

発行元：富士見市 総合政策部 管財課 公共施設マネジメントグループ
富士見市大字鶴馬1800番地の1
TEL 049-251-2711 (内線553・554)
メール kanzai@city.fujimi.saitama.jp

製作者：淑徳大学 人文学部 表現学科 白寄ゼミ

氏家 智春さん
北村 優希さん
大原 万奈さん